



日本労働
總同盟 政治部報告書 (第一號)

一般報告

先づ政治部成立の由來より述べるに、大正十二年十一月十二日より十四日に亘り開かれたる總同盟中央委員会は、山本内閣が普選實施を標榜せるに就き、選挙権行使に關する聲明書を發し、且つ政治行動に關する諸種の問題を考究すべき必要上、議會對策委員會を設置した。議會對策委員會は數回に亘つて、無産政黨問題其他に就き討議論究する所があつたが、越えて大正十三年一月八日及九日に開かれ

たる中央委員會は、同委員會を廢して、政治部を設置し、七名の委員を擧げた。二月に開かれたる第十三年大會は政治部設置を承認した。第一回政治部會は同年九月五日及六日に總同盟本部に於て開かれ、政治教育の普及方法、政治部の組織改正、無産政黨の綱領、構成方法、組織時期、町村會選舉に對する態度、各組合及政治研究會に對する態度に就き熱議し、之を翌日の中央委員會に報告並びに建議し、其の承認を得る所となつた。第二回政治部會は十月卅一日總同盟本部に於て開かれ、主として無産政黨の綱領に就き